

平成30年11月19日実施

「男の子を育てているママ・パパへ

～思春期を迎える前に」の様子

講師：都 智華子さん

(NPO法人プラチナママ代表)



♪こんなことをお話いただきました♪

男の子が思春期を迎えるまえまでに、知っておきたいお話

- ・男の子の成長について
- ・自分や相手の身体と心を大切にできる子どもに育てるために
- ・精通のこと、どう伝える？どんな準備をしておいたらいい？



【自分の身体を守るために】

- ★自分の身体を大切にするためには、自分の身体を好きになることが必要です。
- ★自分の身体が大好きな時期は、だいたい幼児のとき。このときは「どうして空は青いの？」などの質問と同じくらいの感覚で「どうしてお父さんにはおっぱいがないの？」などの性の質問をします。こういった質問をされたとき、ぜひ堂々と答えてあげてください。子どもたちは親の回答というより、態度や雰囲気をよく覚えています。子どもたちがいやらしさや恥ずかしさもなく質問しているにもかかわらず、聞かれた親は言葉を濁したり、その場から逃げてしまったりしてしまう。そういった雰囲気から子どもたちは「聞いてはいけなかった」「家では性の課題はタブーなんだ」と思い込んだまま成長し、性に関して不安があっても、親に相談できなくなってしまいます。
- ★もし答えが思いつかない場合は「よくそんなこと気がついたね、すごい！」と質問してきたことを褒めてあげましょう。子どもたちが自分や異性、大人の身体に興味を持ってきたということは、とても素敵なことです。正常な発達段階の階段を上っているといえます。せっかく子どもたちが興味を持って吸収しようと思っている瞬間なので、何も言わないのはもったいないです！



【インターネットの中に答えを探す子どもたち】

- ★思春期になると、子どもたちの性器への興味はより一層大きくなります。でも、この年頃になると親には聞かないようになります。そんな時、子どもたちが答えを求めるとは、インターネットの世界になってしまいます。インターネットには商品化された情報が溢れていて、子どもたちが求めている答えにたどり着けるかということ、なかなか難しいです。
- ★子どもたちにとっては、「正しいか誤っているか」ではなく、「いつも見ているもの」がスタンダードな情報になってしまいます。インターネットにある過激な描写や商品化された情報、いわゆるショーのようなものを大切な人に強いてしまうようになります。だから、できればインターネットに触れる前に、身体の疑問を相談できる窓口を親にしてもらえたらいいなと思います。



【男の子が性器を触ること】

★実は男の子の身体は自分の性器を触ると気持ちいいと感じるように作られています。だから幼いときでも、ちょっとした心地よさを体験したくて触るときがあります。それをお母さんに「汚いからやめなさい」と怒られると、本当は命をつなげる素敵な場所なのに、子どもは「ここは触っちゃいけない汚い場所なんだ」と勘違いしてしまいます。

★確かにお母さんにはない性器だから、子どもが触っているのを理解しづらいかもかもしれません。しかし、子どもは触らずにはいられないのです。でも、それは生理的に健康な証です。触っているのを見たら、健康に成長していると思ってあげましょう。

★子どもが性器を触っている様子をお母さんが嫌そうに見ていると、子どもは隠れて触るようになります。お母さんが嫌がることを隠れてやっていることへの罪悪感から、子どもたちは自分に自信がなくなったり、自尊心が傷ついたりするようになってしまいます。中学生になると会話も少なくなってしまうので、嫌そうな顔を見せるのではなく、親が身体の疑問を相談できる窓口となるように、子どもに対して聞く姿勢を見せてみましょう。そして、小学生の時期にはぜひ積極的にコミュニケーションをとり、褒めることをこころがけましょう！



【精通をどう伝えるか】

★小学校高学年になると精通が始まる子が多いです。学校の性教育の授業では、あまり精通は取り上げられません。だから、朝起きていきなり性器がかたくなって、下着が汚れている状況になると、どうしていいかわからなくなります。

★できれば前もって家庭で精通について話してあげましょう。「〇〇君が小学校高学年から中学生くらいになったら、朝起きたときにパンツが汚れていることがあるかもしれない。それは〇〇君の身体が大人に変わり始めたおめでたい証拠だよ。ただ、汚れたパンツは自分で洗ってね。洗うのが嫌なら、水で軽く洗って、洗濯機の一番下に入れといてくれたら、お母さん洗っとくから。」と事前にさらっと言っておいてあげるだけで、「病気かな?」「おもしろいかな?」と悩まず、自分がどう対処していいかわかるので、子どもの受け止め方がだいぶ変わります。ぜひ、性のことをいやらしいとか恥ずかしいとか思う前の早い段階（小学校低学年くらい）で、伝えてあげるといいですよ。

☆先生のお話を聞いた後、グループに分かれて、簡単料理教室がありました。

♪今回のメニューは・・・
・ 追いケチャナポリタン
・ グリル de ゆで卵サラダ
でした！



☆お料理を作った後は、皆さんでランチ交流会を行いました。都先生に各テーブルを回っていただき、参加者の方と直接お話いただきました！

にぎやかな雰囲気、皆さん楽しみながら交流できました！

